

下條村ふるさと応援寄付金 のお礼と報告

平成二十年度から実施されております「下條村ふるさと応援寄付金」は、ふるさとを離れて生活されている方が下條村に寄付をすると、住民税などが軽減され、ふるさとを応援したい！ふるさとのために役に立ちたい！という皆さんの思いを形にすることができるとの制度です。

平成二十二年度におきましては、五十四名の方から寄付を頂きました。大勢の方々からのご寄付ありがとうございました。一人一人の下條村への思いを大切に、下條村のむらづくりのために活用させていただきます。

寄付を頂いた皆様の中で、氏名の公表を承諾して頂いた方々のお名前を掲載させて頂きます。

●平成二十二年度寄付者

岩田 正樹 様 千葉県
榎本 貴 様 東京都
小栗 信三 様 福岡県
河上 篤 様 合上・日向出身
清水 厚史 様 中平・平畑出身
古田 善香 様 千葉県
中村 元信 様 兵庫県
三和 正伸 様 千葉県

(アイウエオ順)

また昨年度の寄付金の内訳は左記のようになっており、合計七十万七千五百円もの寄付金がありました。

基金名称	金額
(1)福祉に関する事業	307,000円
(2)教育、スポーツの振興に関する事業	52,000円
(3)若者定住、少子化対策等に関する事業	69,000円
(4)自然環境保全に関する事業	132,000円
(5)歴史文化保存に関する事業	147,500円
合 計	707,500円

東日本大震災 泉崎村のその後

(福島県泉崎村役場)

研修職員 田崎 洋

三月十一日に発生した東日本大震災の際には、救助物資等の提供を頂きましたこと、本当にありがとうございました。幸いにも本村においては、死者、行方不明者等が一人も出なかったことはとても救いと感じております。

震災直後、村内二箇所の避難所には、二十三世帯六十二名が避難していましたが、現在は十六世帯

四十二名が村で用意したアパートに移り住んでおり、村での避難所生活は解消されました。しかし、県が指定した村内への施設へは、未だ四十名程避難していることから、完全に解消されたと言える状況にはありません。

村内全域において、道路をはじめ多くの公共施設が被災しており、道路のあちこちにバリケードが設置されたり、敷き砂利がされたままの状態となっており、住民生活に支障をきたしている状況にあります。また、学校施設につきましては小学校、中学校共に体育館及びプールが使える状態に無く、子ども達の学校生活や授業、部活動等に支障をきたしている状況にあります。さらにはプールにつきましては被災に加え、放射線量の影響を考慮し、屋外プールの使用を控えることから、子供たちはバスで片道一時間ほどかけ、他町村の屋内プールを借りて使用しているのが現状です。

これらの復旧の見通しにつきましては、現在国及び県の災害査定を受ける準備が整い、今後災害の認定を受け、順次復旧・復興に向け工事を行っていく事になります。これら全ての工事については、平成二十四年三月末完了として行わ

れます。

また、一般住宅における被害状況は、全壊が四十三戸、大規模半壊が六十戸、半壊が百八十二戸、一部損壊が四百七十一戸となっております。最も被害件数の多かった瓦屋根の修復については、職人と瓦の不足により見通しがたたないのが現状となっています。未だ目に見えるような復旧はなされていませんが、皆様の温かい心に支えられ、またそれに応えるべく復旧復興に向け全力で取り組んでおります。

「小さな子供の命を守る」救急講習会と

防火講話の開催について

主催 阿南消防署

- 日時：平成23年10月23日(日曜日)
午後1時30分から午後3時30分まで。
- 場所：下伊那郡阿南町西条2333-1
阿南町町民会館 1階大ホール
- 内容：小児に関する手当ての救急講習会と防火講話
(住宅用火災警報器の設置等)
- 募集人員：20名
- 申し込み期間：平成23年10月3日(月)～10月19日(水)
- 申し込み方法：阿南消防署まで。電話でも受け付けます。



問い合わせ先 阿南消防署救急係 電話0260-22-3344

♥婚姻

藤本	串原	関島	杉本	小林	鎮西	塚田	古賀	小島
美結	結愛	璃奈	樹希	駿太	尋登	忠成	朝陽	琉偉
英明	凌善	茂志	崇志	共喜	清久	雅人	修平	史康
山一	相田	北又	小松原	阿知原	鎮西	小松原	合上	小松原